

学校の教育計画

令和2年度 宮崎県立高城高等学校 学校運営基本方針

I 学校教育目標

本校教育は、宮崎県教育基本方針並びに宮崎県人権教育基本方針に基づき、確かな学力を身に付け、心豊かな人間的魅力にあふれた、社会に貢献できる「有為な人材」を育成することを目標とする。

II 学校の使命

 : 教育活動において追求するもの

校是「自立」「友情」「前進」に基づき、確かな学力及び規範意識を身に付けさせるとともに、生徒の適性を生かした進路実現により、地域から信頼される学校づくりに取り組む

III ビジョン

 : 使命の追求を通して実現しようとする、めざす学校・生徒・職員の姿

めざす学校像

生徒一人一人を大切に、互いが尊敬し合い、支え合い、高め合う中で、確かな学力と豊かな人間性、規範意識を着実に身に付けさせ、生徒の能力・適性を生かした進路を実現することにより、生徒・保護者・地域の願いに応え、信頼される魅力ある学校

めざす生徒像

校是「自立」「友情」「前進」の具現化を図り、心身ともに健康で、自己の成長と社会への貢献を目指して学び続ける、心豊かでたくましい生徒

めざす職員像

教育の専門家として、授業力や生徒指導力等の向上にむけて学び続け、生徒・保護者・地域の願いに応えるために「あつい」(熱・厚・篤)指導を行う職員

IV 具体的実践

 : ビジョンの具現化にむけて、全教科・校務分掌が協働して取り組む

学力の向上

- ・ 学習力(学ぶ力)の向上 (TKJタイムの充実)
- ・ 家庭学習量アップと基礎基本事項の定着
- ・ アクティブラーニングによる授業展開の工夫
- ・ 少人数指導によるきめ細かな指導の改善
- ・ 資格取得指導の充実
- ・ 読書活動の工夫

自尊感情の醸成 規範意識の確立

- ・ マナー指導、清掃指導の徹底と挨拶の励行
- ・ 学校行事の精選充実
- ・ 校外の各種大会への参加促進
- ・ ボランティア活動や地域貢献活動の推進
- ・ 人間関係づくりの取組の推進
- ・ 表彰制度の工夫

キャリア教育 の推進

- ・ 3ヶ年間の系統的な指導の構築
- ・ 企業や上級学校との連携による意識啓発
- ・ 多様な進路希望への早期対応と目標達成
- ・ 保護者や卒業生の活用
- ・ インターネットの改善充実
- ・ コミュニケーション能力の育成 (自分の考えを自分の言葉で表現できる)

信頼される 学校づくり

- ・ 家庭、地域、同窓会との連携強化
- ・ 地域との交流促進
- ・ 戦略的な情報発信 (HP、情報ファイル、地域への広報等)
- ・ PTA活動の充実
- ・ 学校関係者評価の適切なフィードバック
- ・ 教職員の矜持によるコンプライアンス意識の保持

V 各学年の目標

1年 (高城高校生としての型を確実に身に付ける)

- ・ 学習習慣の確立と基礎基本の定着
- ・ 諸活動を通じた高校生としての意識確立
- ・ 自己理解と早期の進路目標決定

2年 (様々な事に挑戦し自己の可能性を追求する)

- ・ 自ら学ぶ態度の育成と資格取得の推進
- ・ 各種行事への積極的参加による自己有用感の育成
- ・ インターンシップ等による進路目標の具体化

3年 (自立を促し将来に向けて自分の道を歩む)

- ・ 進路実現に必要な受験学力の育成
- ・ 自律性・社会性の育成と挫折を乗り越える力の育成
- ・ 自己の能力・適性を生かした進路目標の達成

VI 令和2年度の重点目標

～ 可能性を伸ばし 生徒に自信と誇りを 一人一人を大切にする指導を通して ～

- 当たり前のことが当たり前のできる生徒の育成
→ 挨拶・身だしなみ・清掃等の指導の徹底 考えて行動する力の育成、規範意識の醸成
- 生徒一人一人を大切に、輝かせるための工夫
→ 学校行事や生徒会活動、部活動の充実・活性化を通じた生徒の自主性の育成や自己肯定感の醸成
ボランティア活動の推進 表彰の工夫 人間関係づくりの取組の推進 通級による指導の充実
- 生徒の多様な進路目標の実現
→ 授業の充実・改善 TKJタイムの内容充実 多様な進路に対応する指導体制の充実
- 高城ブランドの確立を目指した研究の推進
→ 新学習指導要領実施に向けた教育課程の編成 普通科の特色創出 地域等との連携 情報発信の工夫
- 風通しのよい、働きやすい職場環境づくり
→ 職員間のコミュニケーションの促進 相談しやすい環境づくり 組織的対応 働き方改革の取組の推進